

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第4区分  
 【発行日】令和4年10月3日(2022.10.3)

【国際公開番号】WO2021/200790  
 【出願番号】特願2022-512189(P2022-512189)

【国際特許分類】

B 3 2 B 7/025(2019.01)

B 3 2 B 27/30(2006.01)

H 0 1 L 41/193(2006.01)

H 0 1 L 41/257(2013.01)

10

【F I】

B 3 2 B 7/025

B 3 2 B 27/30 D

H 0 1 L 41/193

H 0 1 L 41/257

【手続補正書】

【提出日】令和4年7月28日(2022.7.28)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリフッ化ビニリデンを主成分として含む圧電フィルムと、帯電防止層および基材層を含む保護フィルムとが貼り合わされており、前記圧電フィルム、前記基材層、前記帯電防止層がこの順に積層されている、積層フィルム。

【請求項2】

30

前記圧電フィルムは、圧電定数  $d_{33}$  が  $5 \text{ pC/N}$  以上  $40 \text{ pC/N}$  以下である、請求項1に記載の積層フィルム。

【請求項3】

前記圧電フィルムは、厚みが  $5 \mu\text{m}$  以上  $200 \mu\text{m}$  以下である、請求項1または2に記載の積層フィルム。

【請求項4】

前記帯電防止層は、表面固有抵抗値が  $10^{14} \text{ } \Omega/\text{sq}$  以下である、請求項1～3のいずれか1項に記載の積層フィルム。

【請求項5】

ロールの状態から  $50 \text{ cm/s}$  で積層フィルムを引き出したときのフィルムの表面電位が、  $-3 \text{ kV}$  以上  $3 \text{ kV}$  以下である、請求項1～4のいずれか1項に記載の積層フィルム。

40

【請求項6】

ポリフッ化ビニリデンを主成分として含む、巻き取り前の押出フィルムを分極させて圧電フィルムを得る分極工程、

巻き取り前の前記圧電フィルムと基材層および帯電防止層を含む保護フィルムとを、前記圧電フィルム、前記基材層、前記帯電防止層がこの順に積層されるように貼り合わせて積層フィルムを得る貼合せ工程、および

前記積層フィルムを巻き取る巻取り工程を含む、積層フィルムの製造方法。

【請求項7】

50

請求項 6 に記載の積層フィルムの製造方法を用いて製造された積層フィルムの表面に金属酸化物を付着させることと、保護フィルムを剥離することを含む、透明導電フィルムの製造方法。

10

20

30

40

50